

研究参加者への説明文

慶應義塾体育会部員を対象としたマウスガード利用の実態調査研究に対するご協力のお願い

研究責任者 石手 靖(体育研究所)

体育研究所では、上記の研究を実施致します。この研究はマウスガードの利用と口腔内のケガ及び脳震盪の発生リスクとの関連性を調査する研究で、研究倫理委員会の承認を受けています。参加者の方の時間的な負担は、質問票（A4 版両面 1 枚）に記載していただくのみとなります。この説明文をお読みになり、研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、ご質問があります場合には、後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願い致します。

1 研究目的

スポーツにおけるマウスガードの使用はここ数年で急速に普及してきました。以前から装着が義務化されていた競技がある一方、最近義務化された競技もあります。さらに現在義務化されていなくてもマウスガードが有効なスポーツ競技として柔道、レスリング、水球、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、スキー、野球等かなりの数にのぼります。しかし、マウスガードの総合的な実態調査はまだ行われていないのが現状です。そこで、マウスガード利用の現状を把握し、口腔内の外傷予防の有効性に関する基礎データが必要と考え、塾内の体育会各部を対象として各種スポーツについて共通項目のアンケートを企画しました。本研究では①競技ごとにマウスガードの利用がどの程度浸透しているか、②競技ごとにどの程度のケガが生じているか、さらに、マウスガードの利用を促進するとともに本調査を継続することで③競技ごとにマウスガードの利用とケガの遁減との関連性、の 3 点を調査することを目的としています。

2 研究参加の任意性と撤回の自由

この研究に参加しない、あるいは同意を撤回することにより、ご自身の体育会活動に関して不利益な扱いを受けることは一切ありません。また、一旦同意しても、後で同意を撤回することができます。ただし、撤回の時期が、データを匿名化した後や、研究成果を公表した後の場合には、同意の撤回に従った措置を講じることが困難となりますので、ご理解下さい。

3 研究方法・期間

研究実施期間：データの解析を含めた研究実施期間は 2022 年 12 月 31 日までを予定しています。研究参加者が実際に参加する期間は、質問票への記入（所要時間 15 分程度）のみとなります。

研究方法：説明文書（本紙）と、同封の質問票、研究同意書を研究対象者（慶應義塾体育会部員）に配布します。研究参加に対してご同意いただいた場合、質問票と同意書を記載していただき、後日回収します。マウスガードの利用有無と、口腔内のケガ及び脳震盪の発生の関連を統計学的に評価します。

研究参加事項：同封の質問票に記入し、主務を通じてご提出ください。なお、記入にあたっては、ご本人がボールペンなどで記入し、訂正がある場合は二重線で訂正してください。

4 研究参加者にもたらされる利益および不利益

本研究では、質問票の記載内容のみを利用するため、参加者の健康を損なう事態は想定していません。また、参加者個人に対しての利益はありません。

5 個人情報の保護

質問票から得られた情報は、個人が識別されないように、氏名欄を切り取り、ID を付与します。氏名と ID の対応表は研究情報管理者が保管します。この方法を用いてデータを匿名化して使用します。研究成果を公表する際には、匿名化したデータをさらに統計処理し、個人が特定されないように配慮します。また、個人情報は、セキュリティ対策を施したパソコンにて厳重に取り扱います。

6 研究計画書等の開示・研究に関する情報公開の方法

体育研究所ホームページにて、研究に関する情報を公開します。また、研究計画書および研究の方法に関する資料は、他の研究参加者の個人情報等の保護及び研究の独創性確保に支障がない範囲で、入手または閲覧できますので、末尾の「問い合わせ先」までご連絡ください。

7 参加者本人の結果の開示

参加者が希望される場合は、研究全体の結果を開示します。ただし、研究結果の解析には、数か月を要することが想定されますので、開示までにお時間をいただく場合があります。なお、研究成果は下記（8 研究成果の公表）の形で公表を予定しています。

8 研究成果の公表

スポーツ科学的に有用性のある成果が得られた場合には、国内外の学会で報告するとともに、学術誌に投稿し発表します。なお、研究成果を公表する際には、匿名化したデータをさらに統計処理し、個人が特定されないように配慮します。

9 研究から生じる知的財産権の帰属

研究から生じる知的財産権は参加された方には帰属しません。

10 研究終了後の資料取扱の方針

本研究で得られた情報は、慶應義塾のガイドラインに従って保管します。保管期間以後、質問票はシュレッダーにて廃棄します。電子データについては、バックアップなどを含めて適切に消去します。なお、質問票から得られた情報は、目的の異なる他の研究には使用しません。

11 費用負担および利益相反に関する事項

本研究は体育研究所の研究費を資金源としており、企業などからの資金提供は受けていません。また、研究参加者の費用負担はありません。

12 問い合わせ先

慶應義塾大学体育研究所 鳥海 崇（実務責任者）

住所：神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 慶應義塾大学体育研究所

電話：045-566-1094

メールアドレス：bird@keio.jp